

第5回 高浜町総合計画町民ワーキング委員会

日程 令和2年3月4日(水)

午後1時30分より

会場 高浜町役場会議室1、2

1. 開会

2. 議事

(1) 総合計画基本構想町民ワーキング委員会案について

(2) 基本構想「将来像(まちやひとの姿)」について

3. その他

4. 閉会

資料1 総合計画基本構想町民ワーキング委員会案

資料2 基本構想委員会案の検討資料

総合計画町民ワーキング委員会委員

任期：委嘱日 令和元年10月17日～総合計画基本構想案策定終了

	氏名	所属	備考
1	中嶋 正光	高浜町商工会 青年部長	
2	須藤 竜乃介	若狭高浜観光協会 事務局	
3	濱側 智洋	若狭高浜漁業協同組合 和田支所	
4	今井 光	J Aわかさ 高浜支店 共済課長	
5	前田 和敬	高浜地区区長会 前会長	
6	大塚 武志	和田地区委員会 前委員長	
7	中地 啓文	青郷地区区長会 会長	R2. 1. 16～
8	森下 俊之	内浦地区区長会 会長	R2. 3. 4～
9	月田 ショーン	高浜まちづくりネットワーク 地域おこし協力隊	
10	田淵 誉	高浜町社会福祉協議会 事務局次長	
11	的場 輝夫	高浜町老人クラブ連合会 副会長	
12	萩野 豊子	高浜町婦人会 副会長	
13	浅野 幸典	社会教育委員兼公民館運営審議会 会長	
14	山本 太史	高浜町PTA連合会 副会長	
15	山中 義和	一般公募	
16	中嶋 望晶	一般公募	
17	永禮 義己	高浜町役場 総合政策課 課長	事務局
18	杉本 泰寛	高浜町役場 総合政策課 課長補佐	事務局
19	野村 芳	高浜町役場 総合政策課 技師	事務局

※ 池本 学 委員 青郷地区区長会 会長 (R1. 10. 17～R2. 1. 15)

※ 田中 康正 委員 内浦地区区長会 副会長 (R1. 10. 17～R2. 3. 3)

高浜町総合計画 基本構想 町民ワーキング委員会（案）

◆目次

1. 位置づけと計画期間
2. 将来像
3. 協働と行政経営

【資料編】

1. 町民ワーキングの開催スケジュールと検討内容
2. 町民ワーキング委員名簿
3. 「私達が取り組んでいくこと」 [町民ワーキング委員会の主な意見]

1. 位置づけと計画期間

① 位置づけ

この計画は、高浜町のあらゆる「まちづくりの分野」を包括する最上位の計画です。高浜町の「将来像」を住民・事業者・行政等で共有し、その実現に向けた取り組みを示す、各主体の行動指針です。

この計画のもと、前総合計画の成果と課題を踏まえ、まちづくりに取り組んでいきます。

② 計画の構成と計画期間

「高浜町総合計画策定条例」に基づき、町議会の議決が必要な「基本構想」と「基本計画」、これらを実現するための手段である「実施計画」で構成します。

■ 基本構想（10年間／令和3（2021）～12（2030）年度）

基本構想は、私達がめざす将来像を「まちや人の姿」として描くとともに、まちづくりの基本要件として「協働と行政経営」の考えを掲げるものです。

■ 基本計画（10年間／令和3（2021）～12（2030）年度）

基本計画は、基本構想を実現するための施策を体系的に示すものです。基本構想と同じ10年間を計画期間としつつ、5年後の令和7（2025）年度に後期5年間の必要な見直しを行います。

■ 実施計画（5年間／令和3（2021）～7（2030）年度）

実施計画は、基本計画に基づく施策を実現するための具体的な事業を、財政的な裏付けをもって示すものです。基本計画期間を前期と後期に分けた5年間を計画期間とし、毎年度3か年間を目途に進捗把握と必要に応じた見直しを行います。

	令和 3年度	令和 8年度	令和 12年度
基本構想			令和12年度まで
基本計画		見直し	令和12年度まで
実施計画		見直し	令和12年度まで
前期		後期	令和12年度まで

2. 将来像

高浜町の10年後の将来像として、「まちやひとの姿」と「人口」の視点から描きます。

(1) まちやひとの姿

キャッチフレーズ

上記の言葉には、次のような趣旨を含めています。

- ・先人から受け継いできた自然とともにある今の暮らしを誇りに感じ、そのよさを一人ひとりが守り高めて、将来へ伝えていきたいということ。
- ・人や地域のつながりや支えあいなどに暮らしの安心や住み心地のよさを感じ、これからも、誰もが、互いを尊重し認めあい、心豊かで健やかに、人や地域のあたたかさにくるまれるよう、多様な関係を保ち、つないでいきたいということ。
- ・いくつになっても学びを通じて、誰もが自分らしく活躍でき、そして、自然環境や歴史、食などの“たかはまの魅力”を活かした、にぎわいに溢れ、交流盛んな活力に満ちたまちを目指していきたいということ。

こうしたことを高浜町の10年後の「まちやひとの姿」として描き、みんなで共有し、これからのまちづくりを進めていきます。

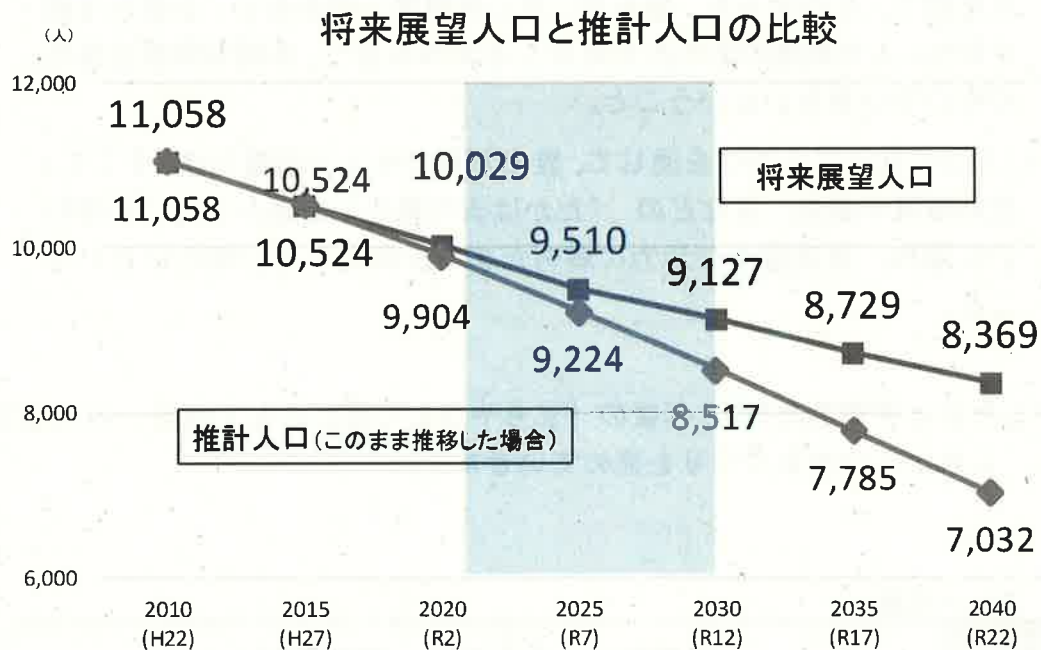
◆ フレーズ案

案1	にぎわい うるおい ささえあい 誰もが主役 住み続けたいまち 高浜町
案2	支えあい、つながりあい 自然とともに暮らし 未来を拓くまち 高浜町
案3	くるむ つなぐ かがやく ～自然とともにある暮らし 若狭たかはま～

(2) 人口

- ・ 高浜町の人口は減少傾向が継続し、本計画期末である令和 12 (2030) 年度の人口は 8,517 人と見込まれています。
- ・ 人口の現状分析と将来の人口展望を示す「高浜町まち・ひと・しごと創生人口ビジョン (平成 27 年 10 月策定、以下「人口ビジョン」という)」では、緩やかな人口減少と年齢構成のバランスを維持し、持続可能な地域を実現することで令和 22 (2040) 年度に 8,300 人の人口を維持することを「将来展望人口」として目標に掲げています。
- ・ 本計画が「人口ビジョン」の計画期間内であることを踏まえ、本計画期末である令和 12 (2030) 年度の人口を 9,100 人と設定します。

町の将来人口 (令和 12 (2030) 年度) 9,100 人



資料:「高浜町まち・ひと・しごと創生人口ビジョン」

3. 協働と行政経営

- ・ 高浜町のまちづくりは、経済・社会・環境の調和を保ち、人口減少社会に対応した持続可能なものとして行い、将来にわたって、私達みんなが高浜町での暮らしにひとつ先の豊かさを感じられることを本旨としています。
- ・ そうした将来像の実現に向けて重要となる「住民主体のまちづくり」「協働のまちづくり」「持続可能な行政経営」について、私たちが共有すべき考えを示します。

(1) 住民主体のまちづくり

- ・ ここで言う「住民」とは、今ここに暮らす私達はもとより、将来世代、さらには高浜町に関わる町外の人も含めた私達みんなのことです。
- ・ 私達は、それぞれに感じている高浜町への関心や愛着を大切に、一人ひとりがまちづくりを「我がこと」として捉え、自分らしい関わりによって、より良いまちをつくっていくために行動するものとします。

(2) 協働のまちづくり

- ・ 「住民主体のまちづくり」を土台とする「協働のまちづくり」は、「問題解決」「魅力向上」「新たな価値の創出」といった公共公益的な活動です。
- ・ 人口減少、地域コミュニティの縮小が進む中で、身近な生活の困りごとや地域防災など、地域での支えあいの視点がより重要度を増しており、人や地域が多様につながり合うことで、暮らしの安心感、住み心地の良さ、生活の質の向上につながります。
- ・ まちをより良くしようとする多様な活動を通じて、誰もが生きがいを持って自分らしく活躍できる地域を目指すとともに、持続可能な地域としていくための地域運営の視点を持った「協働のまちづくり」を進めていきます。
- ・ 住民や自治会、地域活動団体、事業者、行政など、高浜町に関わる町内外の多様な行動主体がそれぞれに「役割」と「責任」を持ち、対等な立場で相互に理解を深めながら、連携・協力し、「協働のまちづくり」に取り組んでいきます。

(3) 持続可能な行政経営

- ・ 高齢化と人口減少が一段と進む今日、持続可能な行政経営を実現するには、行政の役割と機能を最適化させていくことがより一層重要となります。
- ・ 効率的で効果的な行政経営のために、行政の意識改革や人材育成、政策形成能力の強化、国・県・自治体・広域圏や大学、企業等との連携や協働の強化、また、新しいテクノロジーの活用等に取り組みます。
- ・ 高浜町職員としての自負と責任を前提とし、透明性の向上に向けた取り組みや住民ニーズの把握に努めるとともに、限られた資源の有効活用、取り組みの適切な進行管理など、確実な行財政マネジメントを行います。
- ・ 「協働のまちづくり」に多くの住民が参画できるよう、情報発信、コーディネートなどの活動しやすい環境をつくとともに、活動の自立を促進します。

◆資料編

1. 総合計画町民ワーキング委員会の開催スケジュールと検討内容

回数	日時	会議概要
第1回	令元年10月17日(木) 13:30~15:30	<ul style="list-style-type: none"> 策定方針とスケジュール説明 現総合計画の成果と課題(報告) 「住民の取り組み」と「協働の取り組み」について(ワーク)
第2回	令和元年11月20日(水) 13:30~15:30	<ul style="list-style-type: none"> 現総合計画の総括について(報告) 「10年後のめざす姿」について(ワーク) 政策分野①保健・医療・福祉・防災 政策分野②産業振興・観光振興 政策分野③住環境整備・環境保全
第3回	令和元年12月11日(水) 13:30~15:30	<ul style="list-style-type: none"> 「10年後のめざす姿」について(ワーク) 政策分野④子育て・教育 政策分野⑤住民自治・協働 まちの「将来像」とその実現に向けた「住民主体のまちづくり」について(ワーク)⑥
第4回	令和2年1月16日(木) 13:30~15:30	<ul style="list-style-type: none"> 総合計画の全体構成について 総合計画基本構想町民ワーキング(骨子案)について 基本構想「将来像(まちやひとの姿)」について(意見交換) <ul style="list-style-type: none"> ①「子ども・子育て」「福祉」「保健・医療」「教育」分野 ②「住民自治・コミュニティ・地域活動」「協働・行政経営」分野 ③「生涯学習・文化・スポーツ」「農林水産業」「商工・観光」分野 ④「環境」「住生活・都市基盤」「防災」分野 基本構想「協働と行政経営」について
第5回	令和2年3月4日(水) 13:30~15:30	<ul style="list-style-type: none"> 総合計画基本構想町民ワーキング委員会案について 基本構想「将来像(まちやひとの姿)」について

2. 総合計画町民ワーキング委員名簿

氏名	所 属
中嶋 正光	高浜町商工会 青年部長
須藤 竜乃介	若狭高浜観光協会 事務局
濱側 智洋	若狭高浜漁業協同組合 和田支所
今井 光	J Aわかさ 高浜支店 共済課長
前田 和敬	高浜地区区長会 前会長
大塚 武志	和田地区委員会 前委員長
中地 啓文	青郷地区区長会 会長 (R2. 1. 16~)
森下 俊之	内浦地区区長会 会長 (R2. 3. 4~)
月田 ショーン	高浜まちづくりネットワーク 地域おこし協力隊
田淵 誉	高浜町社会福祉協議会 事務局次長
○ 的場 輝夫	高浜町老人クラブ連合会 副会長
萩野 豊子	高浜町婦人会 副会長
◎ 浅野 幸典	社会教育委員兼公民館運営審議会 会長
山本 太史	高浜町P T A連合会 副会長
山中 義和	一般公募
中嶋 望晶	一般公募

※ 池本 学 委員 青郷地区区長会 会長 (R1. 10. 17~R2. 1. 15)

※ 田中 康正 委員 内浦地区区長会 副会長 (R1, 10. 17~R2. 3. 3)

※ 委員長 (◎)、副委員長 (○)

3. 私達に取り組んでいくこと [町民ワーキング委員会の主な意見]

第1回から第4回の町民ワーキングの意見から、めざす姿の実現に向けた住民の取り組み、協働の取り組みを分野別に「私達に取り組んでいくこと」としてとりまとめました。これらのご意見は、基本計画の分野別の「めざす姿」「方針」等の策定に活用します。

保健・医療

- 健康な100歳を目指します。
- 介護を受ける側にならないよう努めます。
- 子どもたちと一緒に、朝のラジオ体操をします。
- 散歩コースを作ります。

産業振興

- 新しいことを始めたい、チャレンジしたい人が、何をしたいか報告する場を作り、起業者を支援します。
- 町や商工会のホームページで求人やボランティア、地域活動等の募集情報を公開します。
- 空き家を活用して、商店街の活性化に貢献します。
- 町内の高校生が町内でアルバイトすることで、町内で働くことへつなげていきます。
- 憧れの的になるような第一次産業者を目指します。

環境保全

- 一人ひとりの環境意識を高めます。
- 家庭・学校で子どもの環境学習を進めます。
- ごみのポイ捨てを絶対に許しません。
- ごみの分別でゴミを減らします。
- 生ごみの水切りや堆肥化で生ごみを減らします。
- レジ袋ゼロを目指します。
- 子どもと一緒に、青葉山に年1回以上登ります。
- 節電を心掛けるとともに、自然エネルギーの活用に取り組みます。
- 各家庭で薬草の苗を育てます。

福祉

- 高齢者が高齢者を支えるネットワークを作ります。
- 若い時から介護について学ぶようにします。
- 声を掛け合い、「おたがいさま」の精神で助け合う関係を築きます。
- あいさつから始めて、顔見知りを増やします。
- 各地域で世代間交流の場を作ります。
- 移動式まちかどカフェや地域サロンのような交流の場、みんなで話し合う場を作ります。

観光振興

- 地域の人が地域の観光地や資源を知って、観光案内人になります。
- 観光情報を発信する「高浜アプリ」を作ります。
- 自然体験ができるプログラムを宿泊者に提供します。
- 旅館、民宿での地元食材利用を進めます。
- 稲刈り、田植え、漁業、炭焼き、たけのこ、干物作り等の専門家が、町民や子どもたちに体験を提供します。
- インパクトのあるおみやげを決定する、高浜M(みやげ)-1グランプリの開催を目指します。

教育・子育て

- 教育を応援するとともに、教育に関わります。
- 地域全体で子どもを育てます。
- 子育てで困った人がいれば、すぐに手助けします。
- 大人が運動を兼ねて公園を利用することで、子どもたちを見守ります。
- 小中高校生と一緒に活動、組織を作ります。
- 地区の祭りを通じて、子どもと大人が関わるようにします。
- 高校や大学の進学で町外に出ても、帰りたいと思えるまちにします。

防犯・防災

- 子どもも大人も気軽に声を掛け合い、隣近所で見守る関係を築きます。
- 災害時の避難場所を把握します。
- 多くの人に参加できるよう、イベントと一緒に防災訓練を開催します。
- 地区、地域ごとに防災訓練や講習を行います。
- 雨水タンクを設置します。
- 家庭用蓄電池を取り入れます。

住環境整備

- 移住者を受け入れる環境を作ります。
- 空き家を活用します。
- 地域住民による自主運営交通バスを作ります。

住民自治

- 全員参加の高浜を目指します。
- 地域の一員であるという意識を持ち、一人ひとりができることを考え、実行します。
- 地域行事を伝承・継承します。
- 4地区でのお互いの交流を活性化します。
- 地域活動やボランティアへ若い世代の参加を促します。
- 子どもや女性、若い世代が参加したい、関心のある活動を考えます。

基本構想 町民ワーキング委員会案の検討資料

「まちやひとの姿」

- ・ 下記の「10年後のめざす姿」は、町民ワーキング（第2～3回）、検討委員会（第2回～5回）のグループワークの検討をとりまとめたものです。
- ・ さらにこれらに対する意見を「上記を踏まえた町民 W・審議会での意見と追加表現」として整理しています。（町民ワーキング（第4回）、審議会（第1回）での意見）

（1）将来像に係る基本的なイメージ

- ・ 町民ワーキング、検討委員会では、「住みよい」「暮らしよい」といったことが、高浜町の魅力として語られました。
- ・ これらは、人間関係のあたたかさや安心感、豊かな自然環境が礎となっていること、さらに、今後もこの住みよさ、暮らしよさを継いでいくために、子ども・子育てを中心とした「人」、そして人や地域との「つながり」を大切にしていきたいという思いが共有されたところでした。

【町民 W/検討委員の意見（10年後のめざす姿）】

（美しい自然が保たれ、豊かな暮らしがある）

- ・ 海、山などの豊かな自然は自慢である
- ・ 豊かな自然を次世代にも残していきたい
- ・ 自然に包まれている、守られている
- ・ 自然と共存している
- ・ 豊かな自然があることは前提

（人間関係がよく、あたたかさ、安心感、居心地の良さがある）

- ・ 人とのつながりが豊か、多世代交流
- ・ 地域への愛着やつながりがあることで、まちに戻ってくる
- ・ 子どもが育ち、その子がまたここで子どもを産み育てる、子育ての循環
- ・ 人がやさしい、助け合い身近にある
- ・ 居心地のよいつながり

（「住みよい」「暮らしよい」「戻ってきたい」と思う人が多い、

これからもそう思えるまちでありたい）

- ・ 帰るべき、戻るべきまち
- ・ 昔ながらの良さが残るまち（温故知新）
- ・ 住みやすく、これからもこのままであってほしい
- ・ いろいろな出会いがあるまち
- ・ 進学や就職等で離れても、いずれ戻ってきたいまち
- ・ 愛着をもっている

上記を踏まえた町民 W・審議会での意見と追加表現

- ・ 高浜町の基本的なイメージとしてはこれで集約できている
- ・ 人の暮らしの基本となることとして、これで良い
- ・ 自然とともに生きる、暮らすこと自体が、高浜町のライフスタイルであり、ブランド

(2) 将来像にのぞむ「まちや人の姿」として大切にしたいこと

① 「子ども・子育て」「福祉」「保健・医療」「教育」分野

検討の素材 (10年後のめざす姿)		ポイント
子ども・子育て	<p><u>すべての子どもがその子らしく健やかに育っている</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域で子育て、気軽に相談できる ・ ご近所の顔がつながる ・ 町内で出産でき、安心できる医療体制がある ・ 子育て世代の地域での交流 ・ 父親も子育てに今よりも参加している ・ 子どもが安心して遊べる・過ごせる 	<p>① 検討の素材を包括するイメージ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 誰もが、生涯を通じて、「地域の人との関わり」を感じながら、安心して、心地よく、健やかに暮らしている <p>② 上記イメージの端的な表現</p> <p>(語句例)</p> <ul style="list-style-type: none"> → 安心して健やかに暮らす → 支えあいがある → ぬくもりがあり、心地よい、人のつながり ・ 互いに育ちあい、共に生きる <p>(単語例)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ くるむ／つつむ ・ つちかう／はぐくむ ・ つながる／まわる／めぐる ・ 居場所
福祉	<p><u>誰もが、いくつになっても住み慣れた地域でともに支えあい暮らしている</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ひとりぼっちにならない、たとえ1人になっても安心のある町 ・ 年齢を重ねても、住みやすい町 ・ 声かけ合い、助け合い、「おたがいさま」の町 ・ 気軽に話しあいができる町 ・ 地域にまとまりがある町 ・ ボランティアが盛ん ・ 町中がバリアフリー ・ 誰もが必要とされる ・ あいさつができる ・ 「くるむ」を子ども子育てだけでなく、乳幼児期から高齢期までを含めて考えて、キャッチフレーズに用いてはどうか 	
保健・医療	<p><u>一人ひとりの健康づくりへの意識が高まり、健康寿命が延伸している</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 健康寿命の延伸 ・ 健康 100 歳 ・ いきいき ・ 地域医療、予防医療に力をいれる ・ みんな健康で介護の要らないまち 	
教育	<p><u>子どもが高浜町で育ってよかったと思っている</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 子どもの時からまちづくりに関わる ・ 地域を自慢できる ・ 進学等で町を離れても、戻ってきたい、戻ってくる 	
<p>上記を踏まえた町民 W・審議会での意見と追加表現</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「支えあい」「たすけあい」の表現は福祉のイメージが強い ・ 「くるむ」は、この領域を包括できている (大きな輪のイメージ、出会い、つながりあい、育つイメージがもてる) ・ 子ども、親目線の表現として「夢を実現できる」といった趣旨を追加しては ・ 「くるむ」は良い言葉が使われていると思う。支えあいの意味を示しているのではないか。 ・ 町の kurumu の取り組みを知らないと、「くるむ」だけでは伝わりにくいのではないか。「くるむ」を用いるのであれば、取り組みの PR が必要となってくる。 		<ul style="list-style-type: none"> → 手をとりあう／元気であたたかい／声かけあい／おたがいさま → 誰もが必要とされる → 安心のあるまち → くらしやすい ・ 夢を実現する／その子らしく健やかに／地域で子育て

② 「住民自治・コミュニティ・地域活動」「協働・行政経営」分野

検討の素材（10年後のめざす姿）		ポイント
住民自治・コミュニティ・地域活動	<p><u>多くの人が地域活動に参画し、活発な交流がある</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 組織の運営、体制、経済面での自立が必要 ・ 20～40代の若いリーダー、団体がでてくるとよい ・ 担い手がたくさんいる ・ 各地区で様々な取り組みが展開されている ・ 地区ごとの祭りによって、多世代交流がなされている ・ 各地区の取組がまち全体で共有されている 	<p>① 検討の素材を包括するイメージ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 誰もが高浜町の一員として、自分らしく地域と関わり、持続可能なまちとなっている <p>② 上記イメージの端的な表現</p> <p>（語句例）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 一人ひとりの関わりでよりよい未来へつなげる ・ みんなの力でつなぐ <p>（単語例）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 綾なす／編む／織りなす ・ 関わる／つなぐ／継承する／つらなる ・ むすぶ／結う ・ 絆
	<p><u>協働が進み、持続可能な行政経営が行われている</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 将来世代へ財政負担を先送りしない ・ 少ない職員数での行政運営のリスク ・ 住民ニーズの多様化 ・ 地域活動の担い手の高齢化 ・ 住民同士のコミュニケーションの希薄化 ・ 県・広域圏での人材交流 ・ 事務、施設など広域化の検討 	
<p>上記を踏まえた町民W・審議会での意見と追加表現</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「つなぐ」「つながる」「絆」「継承」といった表現が考えられる ・ 流行ではあるが、「One Team ワンチーム」は良い表現で、これを日本語で表せないか ・ 誰かがやってくれるという姿勢が多くあり、「みんなが“主役”」の意識が大事 ・ 「持続可能」は大切だが、どこか「現状維持、よりよくなる」という状態が見えない（夢がない） ・ 表現として、「未来、将来へつなげる」「あらゆる世代が元気で頑張る（若者少ない）」「ワガコト」といったこと内容はどうか ・ まち全体の『一体感』（all たかはまの力）として団結や統一感を表せるとよい 		<ul style="list-style-type: none"> ・ みんなが主役 ・ わがこと ・ あらゆる世代が役割を担う

③ 「生涯学習・文化・スポーツ」「農林水産業」「商工業・観光」分野

検討の素材（10年後のめざす姿）		ポイント
生涯学習・文化・スポーツ	<p>自ら学び、学んだことを活かしている</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ いくつになっても楽しく学べる ・ 住民が主体的に色々な活動をしている ・ みんなが地域を自慢できる ・ 年代に関係なく交流が盛ん ・ 伝統芸能が継承されている ・ 外国人や域外から移住する人（U・Iターン者、外国人）にもやさしいまち ・ 観光・体験を通じ、地域を学べる（教育旅行） 	<p>① 検討の素材を包括するイメージ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学びを通じて、誰もが自分らしく活躍している ・ 地域資源を活かした産業によって、まちに活気がある <p>② 上記イメージの端的な表現（語句例）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学びが生きる ・ 学びを活かせるまち ・ 地域と共に発展する ・ 活気ある <p>（単語例）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ いろどる／華やか ・ にぎわう ・ かがやく／きらめく／ひらめく ・ はばたく／ひらく／躍進する／飛躍する／前進する ・ 活気／活力／魅力
農林水産業	<p>農林水産業の付加価値が高まり、地産地消も増えている</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 高浜と言えば「〇〇」があるといった、高浜ブランドがある ・ 水揚げされた魚が、新鮮なまま、提供できる、棚田で育ったおいしいお米が、提供できるなどの地産地消のまち ・ 大規模ビニールハウス施設園芸のコンソーシアムにより、地産地消が拡大している ・ 一次産業で暮らせるまち 	
商工業	<p>若い力、新しい連携、発電所が立地する利点を活かして、地域産業が活性化している</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ やる気がある人、若者のチャレンジを応援する ・ プロが集まり、異業種との連携、コラボ、マッチングによって、新しい産業が生まれる ・ 原子力に限らず、エネルギーのふるさと ・ 原子力発電に関する研究開発拠点のまち、日本（世界）最先端の電子力技術を持つまちにする 	
観光	<p>自然環境、歴史、食など地域資源を活かして、1年を通じて高浜町に多くの人が訪れている</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 環境を生かした観光 ・ 誰もが楽しめる ・ 年間を通じて、全国から人が集まる ・ 住民みんなでおもてなし、ホスピタリティ ・ 観光振興によって、地元に戻ってくる ・ ITを使った観光で活性化 ・ 創業以来の「伝統の味」、「伝統の技術」が、後継者に引き継がれている ・ 青葉山麓やため池に自生する薬草の活用 	
<p>上記を踏まえた町民W・審議会での意見と追加表現</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 特産品や観光地のブランド化、学びを通じて地域に誇りを持つことを踏まえ「誇り」はどうか ・ 「地域産業の活性化」や価値を共有する意味でも「あるものみがき」といった視点は大事 ・ 「わかさかれい」「わかさぐじ」のように何事もこだわって良い ・ きれいな海はこれからも大切 		<ul style="list-style-type: none"> ・ 自信／誇り／誇れる／あこがれ ・ 地域が活性化 ・ あるものをみがく

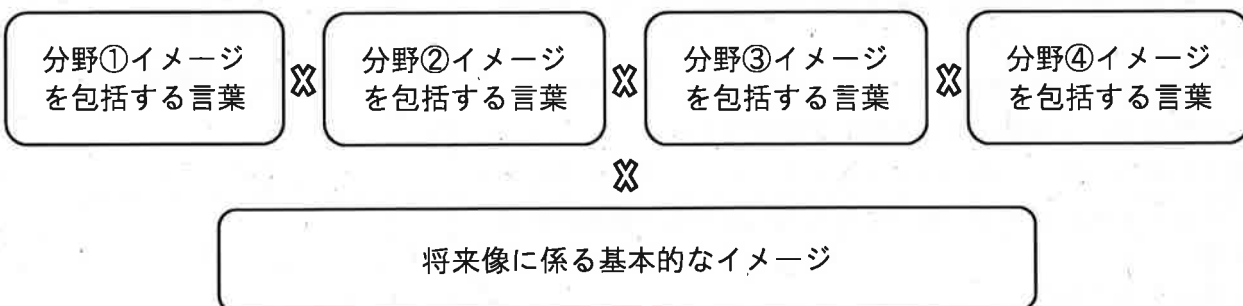
④ 「環境」「住生活・都市基盤」「防災」分野

検討の素材（10年後のめざす姿）		ポイント
環境	<p><u>美しい自然が保たれ、豊かな暮らしがある</u></p> <ul style="list-style-type: none"> 海、山などの豊かな自然は自慢である 自然に包まれている、守られている 豊かな自然を次世代にも残していきたい 自然と共存している 豊かな自然があることは前提 環境教育（ブルーフラッグ、有害鳥獣被害）を通じ、環境保全の大切さ認識する 森林整備により、水源のかん養機能が向上し、洪水、土砂崩壊などの自然災害に強いまち 	<p>① 検討の素材を包括するイメージ</p> <ul style="list-style-type: none"> 自然とともにある暮らしよさと自然災害へのしなやかな強さのある都市 <p>② 上記イメージの端的な表現 (語句例)</p> <ul style="list-style-type: none"> 自然とともにある暮らし 心地よさと安心がある 自然災害へのしなやかな強さ 自然とともに、しなやかに生きる <p>(単語例)</p> <ul style="list-style-type: none"> 自然共生／環境共生 レジリエンス／しなやか 多様性 潤おう 織りなす／寄り添う 快適
住生活・都市基盤	<p><u>良好な住環境があり、快適な暮らしが保たれている</u></p> <ul style="list-style-type: none"> 美しい、統一感のある景観、町並 耕作された田畑が広がり、農地の多面的機能が発揮されている 海岸松原が美しく保全されている 夜でも明るい、安全・安心なまち 空き家がないまち 住民が地元の歴史、文化、資源を知っているまち 文化的なまち 歩行者、自転車中心のまち 公共交通が利用しやすいまち 住民も観光客も移動しやすいまち 	
防災	<p><u>自らできることに取り組み、地域の総力で災害に備えている</u></p> <ul style="list-style-type: none"> 隣近所で見守る、たえず声掛け 自助共助 防災のスペシャリスト、各地区に防災士がいる 災害時の備蓄率100% 新住民、外国人も含めてみんなで危険箇所を共有 災害に強い地域づくり 	
上記を踏まえた町民W・審議会での意見と追加表現		
<ul style="list-style-type: none"> 高浜町らしさを「自然」で表現するとしたら、「海・山・砂浜」が考えられる。 暮らしの中での自然と関わりあいが減っているが、砂浜についてはその維持管理で今も多くの人に関わっており、高浜の暮らしのシンボル 白く長い砂浜は高浜町全体にあり、自慢でき、大切な資源 「自然と人」「自然」を打ち出してはどうか。 高浜の暮らしは一つの「ライフスタイル」として誇れるもの 「自然とともに生きる」は「くらし方」よりも「価値のある表現」 災害が少なく安心 		<ul style="list-style-type: none"> 自然をつなげていく 自然と人との織りなす 美しの浜と心 海と山（青葉山）

(3) 将来像を表すフレーズについて

分野		検討の素材（10年後の目指す姿）	素材を包括するイメージ
①	[子ども・子育て]	すべての子どもがその子らしく健やかに育っている	<ul style="list-style-type: none"> ・誰もが、生涯を通じて、「地域の人との関わり」を感じながら、安心して、心地よく、健やかに暮らしている
	[福祉]	誰もが、いくつになっても住み慣れた地域でともに支えあい暮らしている	
	[保健・医療]	一人ひとりの健康づくりへの意識が高まり、健康寿命が延伸している	
	[教育]	子どもが高浜町で育ってよかったと思っている	
②	[住民自治・コミュニティ・地域活動]	多くの人が地域活動に参画し、活発な交流がある	<ul style="list-style-type: none"> ・誰もが高浜町の一員として、自分らしく地域と関わり、持続可能なまちとなっている
	[協働・行政経営]	協働が進み、持続可能な行政経営が行われている	
③	[生涯学習・文化・スポーツ]	自ら学び、学んだことを活かしている	<ul style="list-style-type: none"> ・学びを通じて、誰もが自分らしく活躍している ・地域資源を活かした産業によって、まちに活気がある
	[農林水産業]	農林水産業の付加価値が高まり、地産地消も増えている	
	[商工業]	若い力、新しい連携、発電所が立地する利点を活かして、地域産業が活性化している	
	[観光]	自然環境、歴史、食など地域資源を活かして、1年を通じて高浜町に多くの人を訪れている	
④	[環境]	美しい自然が保たれ、豊かな暮らしがある	<ul style="list-style-type: none"> ・自然とともにある暮らしよさと自然災害へのしなやかな強さのある都市
	[防災]	自らできることに取り組み、地域の総力で災害に備えている	
<p>将来像に係る基本的なイメージ （美しい自然が保たれ、豊かな暮らしがある） （人間関係がよく、あたたかさ、安心感、居心地の良さがある） （「住みよい」「暮らしよい」「戻ってきたい」と思う人が多い、 これからもそう思えるまちでありたい）</p>			

キャッチフレーズの構成イメージ



将来像

高浜町の10年後の将来像として、「まちやひとの姿」と「人口」の視点から描きます。

(1) まちやひとの姿

キャッチフレーズ

上記の言葉には、次のような趣旨を含めています。

- ・ 先人から受け継いできた自然とともにある今の暮らしを誇りに感じ、そのよさを一人ひとりが守り高めて、将来へ伝えていきたいということ。
- ・ 人や地域のつながりや支えあいなどに暮らしの安心や住み心地のよさを感じ、これからも、誰もが、互いを尊重し認めあい、心豊かで健やかに、人や地域のあたたかさにくるまれるよう、多様な関係を保ち、つないでいきたいということ。
- ・ いくつになっても学びを通じて、誰もが自分らしく活躍でき、そして、自然環境や歴史、食などの“たかはまの魅力”を活かした、にぎわいに溢れ、交流盛んな活力に満ちたまちを目指していきたいということ。

こうしたことを高浜町の10年後の「まちやひとの姿」として描き、みんなで共有し、これからのまちづくりを進めていきます。

キャッチフレーズ案

案1

にぎわい うるおい ささえあい
誰もが主役 住み続けたいまち 高浜町

案2

支えあい、つながりあい
自然とともに暮らし 未来を拓くまち 高浜町

案3

くるむ つなぐ かがやく
～自然とともにある暮らし 若狭たかはま～

「協働と行政経営」

(0) 前文

【記述内容】

- ・ 高浜町のまちづくりは、経済・社会・環境の調和を保ち、人口減少社会に対応した持続可能なものとして行い、将来にわたって、私達みんなが高浜町での暮らしにひとつ先の豊かさを感じられることを本旨としています。
- ・ そうした将来像の実現に向けて重要となる「住民主体のまちづくり」「協働のまちづくり」「持続可能な行政経営」について、私たちが共有すべき考えを示します。

【検討の素材】

	意見等
次期計画の策定方針	<ul style="list-style-type: none">・ よりよい“まちづくり”を総合的かつ計画的に推進するための町の最上位計画・ 住民と行政の協働のまちづくりの目標・ 総合的かつ計画的な行政運営の指針・ まちづくりの課題を住民と共有しながら将来にわたって持続可能な活力あるまちづくりを進める必要がある
現総計	<ul style="list-style-type: none">・ 「一人ひとりが主役になる」「住民一人一人がまちづくりの当事者である」(将来像)
社会動向	<ul style="list-style-type: none">・ SDGsを踏まえたまちづくり(「誰も取り残さない」「持続可能な開発を達成する上での3つの側面、経済、社会、環境の調和、統合」)・ 加速化する少子・高齢化、人口減少社会・ 交流人口・関係人口による地域活性化の模索

(1) 住民主体のまちづくり

【記述内容】

- ・ ここで言う「住民」とは、今ここに暮らす私達はもとより、将来世代、さらには高浜町に関わる町外の人も含めた私達みんなのことです。
- ・ 私達は、それぞれに感じている高浜町への関心や愛着を大切に、一人ひとりがまちづくりを「我がこと」として捉え、自分らしい関わりによって、より良いまちをつくっていくために行動するものとします。

【検討の素材】

	意見等
町民 W/検討委員での意見	<ul style="list-style-type: none">・ 「高浜町の一員として」との思いが大事。・ 自分達のために各自の力を発揮する。・ 地域で活躍できる場がある。「我がこと」として関わる。・ 子どもの頃から地域に関わる。・ 一度離れても戻ってきたいと思える町にしたい。・ 「愛着」という表現はよい。
現総計	<ul style="list-style-type: none">・ 「一人ひとりが主役になる」「住民一人一人がまちづくりの当事者である」(将来像)
社会動向	<ul style="list-style-type: none">・ 「誰もが」尊重される、多様性を前提とする社会へ。・ 訪日外国人、外国人住民の増加。・ 交流人口・関係人口による地域活性化の模索。

(2) 協働のまちづくり

【記述内容】

- ・ 「住民主体のまちづくり」を土台とする「協働のまちづくり」は、「問題解決」「魅力向上」「新たな価値の創出」といった公共公益的な活動です。
- ・ 人口減少、地域コミュニティの縮小が進む中で、身近な生活の困りごとや地域防災など、地域での支えあいの視点がより重要度を増しており、人や地域が多様につながり合うことで、暮らしの安心感、住み心地の良さ、生活の質の向上につながります。
- ・ まちをより良くしようとする多様な活動を通じて、誰もが生きがいを持って自分らしく活躍できる地域を目指すとともに、持続可能な地域としていくための地域運営の視点を持った「協働のまちづくり」を進めていきます。
- ・ 住民や自治会、地域活動団体、事業者、行政など、高浜町に関わる町内外の多様な行動主体がそれぞれに「役割」と「責任」を持ち、対等な立場で相互に理解を深めながら、連携・協力し、「協働のまちづくり」に取り組んでいきます。

【検討の素材】

	意見等
町民 W/検討委員での意見	<ul style="list-style-type: none"> ・ 頑張る人を応援する。 ・ 協働が進んだ分野とそうでない分野がある。 ・ 住民だけでなく、事業者、企業等との様々な協働の取組もある。 ・ 20～40 代の若いリーダー、団体がでてくるとよい。 ・ まちづくりに参画する人が出てくる環境をつくる。 ・ 組織が運営、体制、経済面での自立が必要。 ・ 自治会の役割など時代にあったものに。
審議会での意見	<ul style="list-style-type: none"> ・ 持続可能な地域としていくためには住民による地域運営の視点が重要。
これまでの協働成果 [現総計総括資料より]	<ul style="list-style-type: none"> ・ 住民自身が健康づくりの発信者、担い手となり事業を展開。 ・ 自主防災組織の編成、地区防災訓練の実施。 ・ 各集落での鳥獣被害対策実施隊の編成と対応。 ・ 漁火想から若手花火グループ「櫓龍」が活躍。 ・ 観光協会と若狭町の民間事業者によるパドリングフェスタの開催。 ・ まちなか交流館において、NPO などによるまちなかにぎわい創出のための活動。 ・ 住民による砂浜の清掃。 ・ 婚活イベント、オープンガーデン、和田 de 路地祭等を開催。
現総計	<p>「協働のまちづくりのルール」</p> <p>自分や家族 何ができるかを考え、自分や家族でできることは進んでやっていこう。</p> <p>地域や団体の仲間 地域やまちの身近な課題に対して、地域でできることをやっていこう。</p> <p>役場 住民や団体等と協働して取り組むための環境整備、サポート役、コーディネータ役。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 住民等と行政との協働による「選ばれる」町の実現（基本要件 1）
社会動向	<ul style="list-style-type: none"> ・ 少子・高齢化と人口減少が加速する時代でのコミュニティの維持（防災面での不安の増大も） ・ 地球温暖化の影響による大規模自然災害の多発で一段上の備えの必要性の高まり。 ・ IoT、AI など新しいテクノロジーが、生活に劇的な変化をもたらしつつある時代。 ・ 社会問題を事業で解決する企業の増加。 ・ 「人生 100 年時代」の到来、定年の延長。

(3) 持続可能な行政経営

【記述内容】

- ・ 高齢化と人口減少が一段と進む今日、持続可能な行政経営を実現するには、行政の役割と機能を最適化させていくことがより一層重要となります。
- ・ 効率的で効果的な行政経営のために、行政の意識改革や人材育成、政策形成能力の強化、国・県・自治体・広域圏や大学、企業等との連携や協働の強化、また、新しいテクノロジーの活用等に取り組みます。
- ・ 高浜町職員としての自負と責任を前提とし、透明性の向上に向けた取組みや住民ニーズの把握に努めるとともに、限られた資源の有効活用、取り組みの適切な進捗管理など、確実な行財政マネジメントを行います。
- ・ 「協働のまちづくり」に多くの住民が参画できるよう、情報発信、コーディネートなどの活動しやすい環境をつくとともに、活動の自立を促進します。

【検討の素材】

	意見等
町民 W/検討委員での意見	<ul style="list-style-type: none"> ・ 未利用地等の公共財産の有効活用。 ・ コンパクトで効率的な行財政運営（集約化） ・ 将来世代へ財政負担を先送りしない。 ・ 職員減少による業務過多。 ・ 少ない職員数での行政運営のリスク。 ・ 住民ニーズの多様化。 ・ 地域活動の担い手の高齢化。 ・ 住民同士のコミュニケーションの希薄化。 ・ 県・広域圏での人材交流。 ・ 事務、施設など広域化の検討。
審議会での意見	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今の高浜町を30年後も維持できるのか。この総合計画の10年間は、まちをドラスティックにダウンサイズする、作り直すことを考えないと負の財産が残るまちなになるのではないかと。危機感を打ち出して住民と共有し、まちづくりの方向を示すことが重要。 ・ 発電所の停止を見据え、雇用や働く場所の創出を考えていくことも重要となる。働く場所がなければ、若い人、子育て世代は町から出て行ってしまう。
現総計	<ul style="list-style-type: none"> ・ マネジメントサイクルを徹底した行政経営の実現（基本要件2） ・ 持続可能な財政基盤の確立（基本要件3）
社会動向	<ul style="list-style-type: none"> ・ 歳入の減少と歳出の増加。 ・ 職員減、歳入減の中での行政機能堅持の必要。 ・ 老朽化したインフラ・公共施設の増加に、維持管理・更新の費用・体制の確保が追いつかない。 ・ 行政の役割は「サービス提供者」から「協働のプラットフォーム支援」へ。 ・ テクノロジーの活用による、効果的・効率的な行政経営への転換。

総合計画の全体構成

I 序論

1. 計画策定の趣旨

- これまでの高浜町のまちづくり
 - ・ 第1次総計 (1989~2000)
 - ・ 第2次総計 (2001~2010)
 - ・ 第3次総計 (2011~2020)

2. 高浜町の特長

- (1) 位置と地勢
- (2) 自然・歴史・文化
- (3) 人口
 - 人口の推移と推計
 - 年齢3区分別人口割合の推移
- (4) 財政
 - 歳入と歳出の推移

3. 社会動向

- 持続可能な社会づくりを『誰一人取り残さず』に進める時代へ
- 『少子・高齢化』と『人口減少』が、『一段と加速』する時代へ
- 一人ひとりが尊重され、誰もがもっと『自分らしく活躍できる』時代へ
- 様々な『技術革新』が、人々の生活に『劇的な変革』をもたらす時代へ
- 大規模自然災害に備え、『防災・被災時対応力』を培う時代へ
- 持続可能な自治体経営と新しい住民自治を構築する時代へ

4. 前高浜町総合計画の成果と課題

- ・ 「基本目標」ごとに「成果と課題」を整理し、記載

- | | |
|--------|----------------------|
| 基本目標 1 | 誰もが安心して暮らせるまち |
| 基本目標 2 | いきいきと働くことができるまち |
| 基本目標 3 | 安全・快適で住みやすいまち |
| 基本目標 4 | 豊かな自然を守り、地球環境に貢献するまち |
| 基本目標 5 | 学びあい・教えあい、そして、人を育むまち |

町民ワーキングとしての基本構想案を作成
(第1~3回: 構想案の構成要素ごとに検討、4~5回: 案として検討)

II 基本構想

1. 位置づけと計画期間

- 計画の位置づけ(役割、目的)
- 基本構想、基本計画、実施計画の構成、計画期間の明示

2. 将来像

- (1) まちやひとの姿
- (2) 人口

3. 協働と行政経営

- (1) 住民主体のまちづくり
- (2) 協働のまちづくり
- (3) 持続可能な行政経営

[2. 将来像を実現していくための基本要件として整理]

III 基本計画

1. リーディングプロジェクト

- 今後5~10年間、まちづくりを「牽引する」「重視する」プロジェクト
[分野横断のプロジェクトを整理]

2. 施策の体系

- 「1. リーディングプロジェクト」「3. 分野別の施策」を一覧として記載

3. 分野別の施策

- 分野ごとに「めざす姿」「概況・課題」「施策名」「施策概要」「指標と目標値」などを記載

参考: 分野(例)

- ① 人権・平和
- ② 保健・医療
- ③ 子ども・子育て
- ④ 高齢福祉
- ⑤ 障害福祉
- ⑥ 地域福祉
- ⑦ 防災・安全
- ⑧ 住民自治・地域活動
- ⑨ 農林水産業
- ⑩ 商工業
- ⑪ 観光
- ⑫ 住まい・生活環境
- ⑬ 市街地
- ⑭ 道路・交通
- ⑮ 自然環境
- ⑯ 循環型社会・低炭素社会
- ⑰ 学校教育・青少年
- ⑱ 生涯学習・文化・スポーツ
- ⑲ 都市経営

- ・ 分野は今後の検討を踏まえ、調整します
- ・ 行政全体を見渡すことを重視し、すべての分野について、今後の方向、目標を示します。
- ・ 一方で、重視することがわかるよう、「1. リーディングプロジェクト」で特出しして整理します

※町民ワーキングからの意見

(第1~3回)

- ・ 分野ごとに記載する「めざす姿」へ反映
- ・ 縦組のアイデアについては、庁内での検討を踏まえ、「施策概要」「実施計画」への反映を検討

4. 計画の推進

- 計画の進行管理
- 指標一覧(「3. 分野別の施策」で各ページに掲載した指標の一覧)

■資料編

- 諮問、答申/○ 策定経過/○ 策定体制
- 委員会名簿(審議会、町民ワーキング、検討委員会、策定委員会)
- 「わたしたちが取り組んでいくこと」[町民ワーキング委員会の主な意見]